

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-312473  
(43)Date of publication of application : 09.11.2001

(51)Int.Cl. G06F 15/00  
G10K 15/02  
G11B 27/00

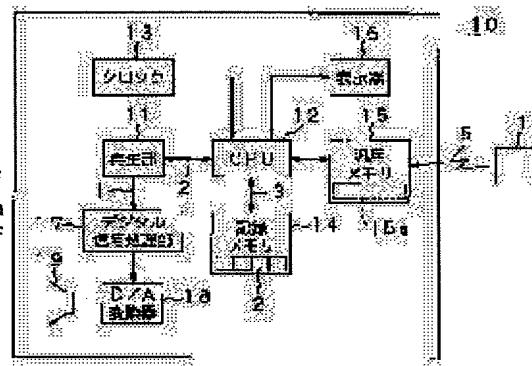
(21)Application number : 2000-132917 (71)Applicant : SONY CORP  
(22)Date of filing : 27.04.2000 (72)Inventor : NAITO MASAHIKO

## (54) REPRODUCING DEVICE AND DEVICE AND METHOD FOR REPRODUCTION RESULT TOTALIZATION

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily obtain extremely fine and precise reproduction result information such as music information.

SOLUTION: This device is equipped with a reproduction part 11 which reproduces many pieces of individual information 1 and a reproduction result recording part, 14 which sequentially records individual reproduction result information 2 on the time, etc., of reproducing operation each time the reproduction part 11 reproduces individual information 1. Pieces of individual reproduction result information 2 by the pieces of individual information 1 are edited to generate edited information 3. Transmission information 22 regarding the reproduction operation of individual information 1 is sent from each reproducing device 20 to a reproduction result totalizing device 21 and the totalizing process of the whole is performed.



(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-312473

(P2001-312473A)

(43)公開日 平成13年11月9日 (2001.11.9)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>  
G 0 6 F 15/00  
G 1 0 K 15/02  
G 1 1 B 27/00

識別記号  
3 3 0

F I  
G 0 6 F 15/00  
G 1 0 K 15/02  
G 1 1 B 27/00

テ-マコ-ト(参考)  
3 3 0 C 5 B 0 8 5  
5 D 1 1 0  
D

審査請求 未請求 請求項の数20 O.L (全 12 頁)

(21)出願番号 特願2000-132917(P2000-132917)

(22)出願日 平成12年4月27日 (2000.4.27)

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 内藤 将彦

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ  
ー株式会社内

(74)代理人 100067736

弁理士 小池 晃 (外2名)

Fターム(参考) 5B085 A0D4 BE07

5D110 AA15 AA27 BB24 BB29 DA14

DA15 DA17 DB09 DC05 DC06

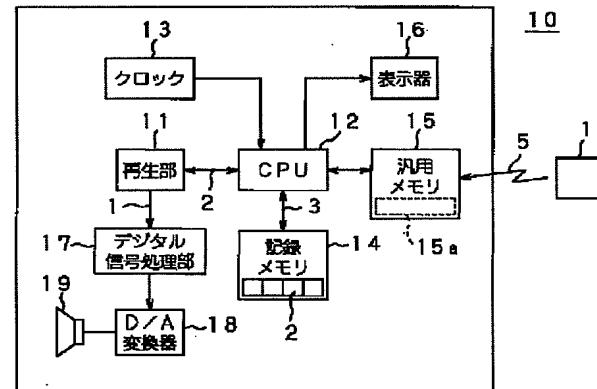
DE02 FA08

(54)【発明の名称】 再生装置及び再生実績集計装置並びに再生実績集計方法

(57)【要約】

【課題】 楽曲情報等の極めの細かなかつ精密な再生実績情報を簡易に入手可能とする。

【解決手段】 多数の個別情報1を再生する再生部11と、この再生部11において個別情報1の再生操作を行った毎にその再生操作に関する日時等の個別再生実績情報2を順次記録する再生実績記録部14とを備える。個別情報1毎の個別再生実績情報2を編集処理して、編集情報3を作成する。各再生装置20から個別情報1の再生操作に関する送信情報22が再生実績集計装置21に送信されて全体の集計処理が行われる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 個別情報を再生する再生部と、上記再生部において上記個別情報の再生操作を行った毎に、その再生操作に関する日時等の個別再生操作情報を順次記録する再生実績記録部とを備え、上記個別情報毎の上記個別再生操作情報を編集処理して、再生編集情報を作成することを特徴とする再生装置。

【請求項2】 通信網を介して供給元から送信された提供情報を受信するとともに、情報格納部に上記個別情報として供給する受信部を備え、上記個別情報が、配信される楽音情報、映像情報或いはゲームソフトウェア情報等であることを特徴とする請求項1に記載の再生装置。

【請求項3】 上記個別再生操作情報や再生実績情報等の送信情報を通信網に送信する送信部を備えることを特徴とする請求項1に記載の再生装置。

【請求項4】 上記送信情報には、固有の装置識別信号が付加されて、上記送信部を介して送信されることを特徴とする請求項3に記載の再生装置。

【請求項5】 上記受信部は、要求元から通信網を介して送信された再生実績情報要求信号を受信し、上記送信部は、上記再生実績情報要求信号に基づいて上記送信情報を上記通信網を介して上記要求元に送信することを特徴とする請求項3に記載の再生装置。

【請求項6】 上記受信部において、要求元から送信される上記再生実績情報要求信号に付加された固有の要求元識別信号を識別することによって、上記要求元に対する上記送信情報の送信可否を判断した後に上記送信部を介して送信することを特徴とする請求項5に記載の再生装置。

【請求項7】 据置型、携帯型、車載型或いは携帯電話機であることを特徴とする請求項1に記載の再生装置。

【請求項8】 多数の個別情報を選択して再生手段により再生し、再生操作を行った毎に個別の再生操作情報を再生実績記録部に順次記録するとともに上記個別情報毎の上記個別再生操作情報を編集処理して再生編集情報を作成しつつ上記個別情報或いは再生編集情報を送信する多数個の再生装置が通信網を介して端末接続され、上記各再生装置からの上記送信情報を上記通信網を介して収集するとともに、その集計処理を施して再生実績総合情報を作成することを特徴とする再生実績集計装置。

【請求項9】 上記各再生装置から、それぞれに付与された固有の端末識別符号に対応する固有の端末識別情報を付加されて上記送信部を介して送信される上記送信情報について、検出部において、上記個別端末識別情報を識別することによって、上記送信情報の重複収集が禁止されるようにしたことを特徴とする請求項8に記載の再生実績集計装置。

置。

【請求項10】 上記各再生装置に対して再生実績情報要求信号を送信することによって、上記送信情報の収集を自動に行うことを特徴とする請求項8に記載の再生実績集計装置。

【請求項11】 上記各再生装置に対して、固有の識別信号を付加した上記再生実績情報要求信号を送信することを特徴とする請求項8に記載の再生実績集計装置。

【請求項12】 据置型再生装置、携帯型再生装置、車載型再生装置或いは携帯電話機を上記各再生装置として端末接続することを特徴とする請求項8に記載の再生実績集計装置。

【請求項13】 多数の個別情報を再生する多数の再生装置と、これら再生装置が通信網を介して端末接続される再生実績集計装置とが用いられ、上記各再生装置において、上記個別情報の再生操作を行った毎にその再生操作に関する個別再生操作情報を順次記録するとともに各個別情報毎の再生編集情報を作成し、

20 上記再生操作集計装置において、上記各再生装置に対してそれぞれ上記個別情報毎の再生編集情報の送信指示を行ふとともに、収集結果に基づいて上記各個別情報毎の再生実績の集計処理を行って再生実績総合情報を作成することを特徴とする再生実績集計方法。

【請求項14】 個別情報を再生する再生部と、上記再生部によって上記個別情報の再生操作を行った毎にその再生操作に関する個別の再生操作情報を順次記録する再生実績記録部と、上記個別情報毎の上記個別再生操作情報を編集処理して再生編集情報を作成する編集処理部と、上記再生編集情報或いは個別の再生操作情報等の送信情報を通信網に送信する送信部とを備えた上記再生装置が用いされることを特徴とする請求項13に記載の再生実績集計方法。

【請求項15】 上記再生装置として、据置型再生装置、携帯型再生装置、車載型再生装置或いは携帯電話機が用いされることを特徴とする請求項13に記載の再生実績集計方法。

【請求項16】 上記通信網を介して上記各再生装置に対して再生実績情報要求信号を送信する送信部と、上記再生実績情報要求信号に基づいて上記各再生装置から送信される上記送信情報を受信する受信部と、受信した上記受信情報を集計処理する処理部とを備える上記再生実績集計装置が用いされることを特徴とする請求項13に記載の再生実績集計方法。

【請求項17】 上記再生装置において再生される上記個別情報が、上記通信網を介して供給元から配信された楽音情報、映像情報或いはゲームソフトウェア情報等であることを特徴とする請求項13に記載の再生実績集計方法。

50 【請求項18】 上記再生実績集計装置から上記各再生

装置に対して上記再生実績情報要求信号を送信することによって、上記送信情報の収集を自動で行うことを特徴とする請求項13に記載の再生実績集計方法。

【請求項19】 上記各再生装置にそれぞれ固有の端末識別符号を付与するとともに、上記送信情報に対して上記端末識別符号に対応する固有の端末識別情報を付加して上記送信部を介して送信し、

上記再生実績集計装置において、受信した上記送信情報から上記端末識別情報を識別することにより、その重複収集が禁止されるようにしたことを特徴とする請求項13に記載の再生実績集計方法。

【請求項20】 上記各再生装置に対して複数の上記再生実績集計装置が上記通信網を介して接続され、

上記各再生実績集計装置から、それぞれ固有の装置識別情報を付加した上記再生実績情報要求信号を上記各再生装置に対して送信し、

上記各再生装置において、受信した上記再生実績情報要求信号から上記装置識別情報を識別して、当該再生実績集計装置に対する上記送信情報の送信可否を判断した後に上記送信部から送信することを特徴とする請求項13に記載の再生実績集計方法。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、楽音情報、映像情報或いはゲームソフトウェア情報等の個別情報を再生するとともにその再生実績が記録される再生装置及び各再生装置からそれぞれの個別情報の再生実績を収集して集計処理する再生実績集計装置並びに再生実績集計方法に関する。

##### 【0002】

【従来の技術】 例えば、円盤状記録媒体の再生装置においては、固有識別符号を有する円盤状記録媒体の再生操作を行った場合に、その再生実績を記憶するとともに頻度が大きい順にソートして表示する機能を備えるものが提供されている。再生装置は、使用者がかかる機能を利用することによって、例えばある時期に自分がどのような記録媒体の再生操作を行ったかが簡単に確認可能であり、利便性が図られるようになる。

【0003】 また、最近では、通信回線網等を利用して楽音情報や映像情報或いはゲームソフトウェア情報等が配信され、これらを利用者が選択して再生装置によって再生して楽しむようにしたシステムも提供されている。かかるシステムにおいては、配信元において提供情報の再生実績が定期的に集計され、利用者に対してその状況等が適宜案内されたり効率的な情報提供が行われたりする。かかるシステムには、据置型再生装置や携帯型再生装置或いは車載型再生装置ばかりでなく携帯電話機も端末装置として利用される。

##### 【0004】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、上述した再

生装置においては、記録媒体単位の固有識別符号を識別して記録する範囲であるために、この記録媒体をいつ頃どのような時間帯で再生したかといったような詳細な内容までを知ることができなかった。また、再生装置は、記録媒体に収録された個別情報までの再生実績を記録するものでは無く、個別情報単位の実績を知ることができなかった。したがって、再生装置は、せっかくの機能も使用者に充分に活用されるまでに至っていなかった。

【0005】 また、再生装置においては、個々に再生実績を記憶していても、この再生実績情報を相互に確認する手段が備えられていない。使用者は、雑誌等の媒体を通じていわゆる売れ筋商品の情報の入手が可能であるが、これら商品が購入者によって実際にどの程度再生使用されたかまでの情報を得ることができなかった。使用者にとって、多くの再生装置による再生実績情報を入手することで、わざわざ購入した商品が実際には繰り返し再生使用されない評判倒れの商品であることを知ることが可能となる。

【0006】 一方、楽曲等の配信システムにおいては、配信した楽曲等が顧客によって実際にどの程度再生使用されたかを把握することが極めて重要であるが、例えば所定期間における時間帯別の再生実績等の情報も必要である。配信システムは、かかる情報を有効に利用することによって、利用者に対してより極めの細かな楽曲等の提供が可能となる。

【0007】 また、配信システムにおいては、上述した再生実績情報の入手が利用者側からの自主的な提供に委ねるものであった場合に、利用者に負担をかけるとともに特定の利用者からの情報提供になりがちであることからより客観的な情報入手が困難となるといった問題がある。したがって、配信システムにおいては、各再生装置から自動的に再生実績情報が入手可能であることが好ましい。しかしながら、かかる配信システムは、各再生装置から利用者の了解無しにその再生実績情報を自動的かつ無制限に入手が可能となることから、利用者のプライバシーをおかすといった問題も生じる。

【0008】 したがって、本発明は、楽曲情報等の極めの細かなかつ精密な再生実績情報を簡易に入手可能とした再生装置及び再生実績集計装置並びに再生実績集計方法を提供することを目的に提案されたものである。

##### 【0009】

【課題を解決するための手段】 上述した目的を達成する本発明にかかる再生装置は、個別情報を再生する再生部と、この再生部において個別情報の再生操作を行った毎にその再生操作に関する個別情報と日時等の個別再生操作情報を順次記録する再生実績記録部とを備えて構成される。再生装置においては、個別情報毎の個別再生操作情報を編集処理して、再生編集情報を作成する。

【0010】 また、再生装置は、通信網を介して供給元から送信された提供情報を受信するとともに、情報格納

部に個別情報として供給する受信部を備える。再生装置は、再生編集情報を通信網に送信する送信部を備える。

【0011】以上のように構成された本発明にかかる再生装置によれば、再生操作情報に基づいて、所定期間において最も多く再生操作を行った特定の個別情報の把握が可能となる。したがって、再生装置によれば、使用者に対して、例えば所定期間における時間別の再生実績等のように極めの細かな再生実績に関する情報を提供する。再生装置によれば、極めの細かな再生実績の把握を可能とすることで、受信部を介してより効率的な個別情報の入手を可能とともに、送信部を介して有効な再生編集情報を遠隔地の第三者に対しても提供可能とする。

【0012】また、上述した目的を達成する本発明にかかる再生実績集計装置は、多数の個別情報を選択して再生手段により再生し、再生操作を行った毎に個別の再生操作情報として再生実績記録部に順次記録するとともに個別情報毎の個別再生操作情報を編集処理しつつこの再生編集情報あるいは個別再生操作情報等の送信情報を送信する多数個の再生装置が通信網を介して端末接続される。再生実績集計装置は、通信網を介して各再生装置に対して再生実績情報要求信号を送信することによって、各再生装置から送信情報を通信網を介して収集する。

【0013】また、再生実績集計装置は、各再生装置から、それぞれに付与された固有の端末識別符号に対応する固有の端末識別情報を付加されて送信部を介して送信される送信情報について、検出部において個別端末識別情報を識別する。再生実績集計装置は、各再生装置に対して再生実績情報要求信号を送信することによって、送信情報の収集を自動に行うように構成される。再生実績集計装置は、各再生装置に対して、固有の識別情報を付加した再生実績情報要求信号を送信する。

【0014】以上のように構成された再生実績集計装置によれば、各再生装置から個別情報に関する再生編集情報を遠隔的に収集して編集処理することで、例えば全体の所定期間における時間別の再生実績等のように極めの細かな再生実績に関する情報を簡易に得ることが可能となる。したがって、再生実績集計装置によれば、例えば楽曲等の配信システムにおいて、各再生装置に対してより有効な楽曲等の提供を効率的に行うこと可能とする。

【0015】また、再生実績集計装置によれば、各再生装置から送信された再生編集情報の固有の端末識別情報を識別して再生編集情報の重複収集を禁止することで、より精密な送信情報が入手されるようになる。再生実績集計装置によれば、各再生装置において固有の識別情報が識別されることで、例えば再生装置の使用者のプライバシー保護が図られるようになる。

【0016】さらに、上述した目的を達成する本発明にかかる再生実績集計方法は、多数の再生装置と、これら

再生装置が通信網を介して端末接続される再生実績集計装置とが用いられる。再生実績集計方法は、各再生装置において個別情報の再生操作を行った毎にその再生操作に関する個別再生操作情報が順次記録され、再生操作集計装置において各再生装置に対してそれぞれ個別情報あるいは全体の再生編集情報等の送信情報の送信指示を行うとともに収集結果に基づいて各個別情報毎の再生実績の統計処理を行って再生実績総合情報を作成する。

【0017】また、本発明にかかる再生実績集計方法10は、再生実績集計装置から各再生装置に対して再生実績情報要求信号を送信するようにする。再生実績集計方法は、各再生装置から送信部を介して送信される固有の端末識別情報が付加された送信情報が、再生実績集計装置においてその検出部により固有端末識別情報を識別されるようにする。再生実績集計方法は、複数の再生実績集計装置からそれぞれ固有の装置識別情報を付加した再生実績情報要求信号を各再生装置に対して送信し、各再生装置において、受信した再生実績情報要求信号から装置識別情報を識別して、当該再生実績集計装置に対する送信情報の送信可否が判断された後に送信部から送信が行われるようにする。

【0018】以上の処理を行う本発明にかかる再生実績集計方法によれば、各再生装置からそれぞれに格納した多数の個別情報の再生操作情報を遠隔的に収集して編集処理を行うことで、例えば全体の所定期間における時間別の再生実績等のように極めの細かな再生実績に関する情報が簡易に得ることが可能となる。したがって、再生実績集計方法によれば、例えば楽曲等の配信システムにおいて、各再生装置に対してより有効な個別情報の提供を効率的に行うこと可能とする。

【0019】また、再生実績集計方法によれば、各再生装置から送信された送信情報の固有の端末識別情報を識別してその重複収集を禁止するようことで、より精密な再生実績に関する情報の入手が可能となる。再生実績集計方法によれば、各再生装置において固有の識別情報が識別されることで再生装置の使用者のプライバシー保護を図り、安全なシステムが図られるようになる。

【0020】  
【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について、図面を参照して詳細に説明する。実施の形態として示す再生装置10は、個別情報1を再生操作するとともに、この再生操作毎の個別再生操作情報2を順次記録しつつこの個別再生操作情報2（以下、再生情報と称する。）を編集処理することによって個別情報1に関する再生編集情報3（以下、編集情報と称する。）を作成する。再生装置10は、パーソナルユースの楽音再生装置やパーソナルコンピュータ或いはゲーム機であり、また業務用のカラオケ機やゲーム機等からなり、楽音やゲームソフト等の個別情報1の再生処理を行う。なお、再生装置10については、以下の説明において、楽曲再生装

置として説明する。

【0021】再生装置10は、図1に示すように、再生部11と、CPU12と、クロック13と、個別情報1を順次記録する再生累積記録メモリ14と、汎用メモリ15と、表示器16等を備えて構成される。再生装置10は、再生部11において再生される楽曲1を、デジタル信号処理部17及びデジタルルーランダログ変換器18を介してスピーカ19から放音する。再生装置10は、詳細を省略するが従来の一般的な再生装置と同様に全体の動作がCPU12によって制御されるとともに、種々の情報やデータ等が汎用メモリ15に格納されている。再生装置10は、CPU12からの出力によって表示器16に、カレンダーの表示や、再生操作の状態表示等の適宜の表示が行われる。

【0022】再生装置10においては、通信網5を介して例えば配信センタ等から供給される多数の楽曲1を汎用メモリ15の楽曲記録領域15aにダウンロードする。再生装置10においては、汎用メモリ15に格納した楽曲1に関する情報、例えば曲名や曲番、再生時間等の情報がCPU12に送られる。再生装置10においては、使用者により図示しない操作部での再生操作が行われることによって、CPU12を介して汎用メモリ15の楽曲記録領域15aから格納された楽曲1が選定されて再生部11によりその再生操作が行われる。再生装置10は、詳細を省略するが、汎用メモリ15に格納された多数の楽曲1の内容を表示器16によって表示する。

【0023】再生装置10は、例えばディスクや磁気テープ等の媒体も再生可能であり、再生部11に適宜の再生機構が備えられている。再生装置10は、装填部に媒体を装填して操作部を介して再生操作が行われると、再生機構によりディスク等から楽曲1が再生される。再生装置10においては、上述した楽曲1の再生操作が行われる毎に、この楽曲1の曲名情報6がCPU12を介して再生部11から取り出されて再生累積記録メモリ14に順次記録される。再生装置10においては、楽曲1の再生操作が行われる毎に、CPU12を介してクロック13から日時情報7が取り出されて曲名情報6とともに再生累積記録メモリ14に順次記録される。

【0024】再生累積記録メモリ14には、図2に示すように、再生操作の順に再生情報2a乃至2nが順次記録されている。各再生情報2は、それぞれ上述したように楽曲1の曲名情報6a乃至6nと、日時情報7a乃至7nとからなる。各再生情報2は、例えば楽曲1が最初から最後まで再生された場合にのみ再生累積記録メモリ14に記録される。曲名情報6については、楽曲データ中に明示的に保持されたユニークな情報であってもよく、また楽曲データにデジタル処理を施して作成した固有のコード情報であってもよい。

【0025】再生装置10においては、例えば使用者が操作部を介して設定した条件に基づいて編集処理操作を

行うことによって、図3に示すように再生累積記録メモリ14に記録された再生情報2の編集(ソート)処理が行われる。再生装置10においては、再生累積記録メモリ14に、例えば楽曲Aについて、4個の再生情報2a、2b、2c、2fが記録されている。再生装置10においては、再生累積記録メモリ14に、例えば楽曲Bについて、2個の再生情報2e、2gが記録されている。再生装置10においては、再生累積記録メモリ14に、例えば楽曲Cについて、1個の再生情報2dが記録されている。

【0026】再生装置10においては、例えば期間指定無しでの再生頻度順のソート条件p1の設定によりソートを行うことによって、同図に示すように楽曲Aが4回、楽曲Bが2回、楽曲Cが1回の編集情報3Aが作成される。再生装置10においては、例えば2000年4月内における再生頻度順のソート条件p2の設定によりソートを行うことによって、同図に示すように楽曲Bが2回、楽曲Aが1回、楽曲Cが0回の編集情報3Bが作成される。

【0027】再生装置10においては、上述した編集処理操作を行って得た編集情報3が、CPU12を介して再生累積記録メモリ14から取り出され、例えば図4に示すようにガイド表示を含む表示フォーマットによって表示器16に表示される。勿論、再生装置10においては、再生累積記録メモリ14に作成した編集情報3を記録するばかりでなく、編集処理操作が行われる毎に上述した編集情報3を作成して表示器16に表示するようにしてもよい。また、再生装置10は、例えば月次毎に上述した編集処理操作を自動的に行うようにしてもよい。

【0028】本発明の第2の実施の形態として図5及び図6に示した再生装置20は、上述した再生装置10と基本的な構成を同等とするが、全ての再生情報2や作成した編集情報3等の送信情報22を必要に応じて再生実績集計装置21に対して送信する送信機能を有する構成において特徴がある。したがって、再生装置20については、再生装置10の各部と対応する部位には同一符号を付すことによってその詳細な説明を省略する。

【0029】再生装置20には、図示しないコンピュータ等とコネクタ23を介して接続される送受信部24が備えられる。再生装置20は、例えばコンピュータを介してインターネットに代表される通信網と接続される。再生装置20は、送受信部24がアンテナ24aを介して例えば図示しない携帯電話機等の無線ネットワーク網と接続可能に構成されている。なお、再生装置20は、コネクタ23を介して直接有線通信網と接続されるように構成してもよい。再生装置20は、詳細を省略するがこれらの通信網5を介して記録メモリ14に記録された送信情報22等を送信するとともに、適宜の情報や楽曲1を受信する。

【0030】再生装置20は、図6に示すように再生実

績集計装置21に対して通信網5を介して多数個20a乃至20mが接続される再生実績集計システムを構成し、詳細を後述するようにこの再生実績集計装置21にそれぞれの送信情報22を送信する。再生装置20には、このためにそれぞれ固有の装置識別符号が付与されており、各自の装置識別符号に対応する装置識別情報26が記憶されるID記憶メモリ25を備えている。

【0031】再生装置20は、装置識別符号を図示しない操作部を介して入力し、或いは再生実績集計装置21側から通信網5を介して割り当てられることによって装置識別情報26をID記憶メモリ25に記憶する。再生装置20は、後述するように再生実績集計装置21からの要求に基づき、或いは所定の期間毎にID記憶メモリ25から装置識別情報26を取り出して送信情報22に付加して送信する。

【0032】再生実績集計装置21は、図6に示すように全体の動作制御等を行うCPU27と、受信した各再生装置20からの送信情報22等を格納する集計メモリ28と、送受信部29と、比較器30と、出力部31等を備えている。再生実績集計装置21は、図示しないが集計メモリ28内に或いは独立したIDデータベースメモリを備えている。再生実績集計装置21は、後述するように送信情報22を受信すると、この送信情報22に付加された装置識別情報26をIDデータベースメモリに記録する。なお、再生実績集計装置21においては、個々の再生装置20の使用者の情報、例えば年齢、性別、居住地等の情報についてもIDデータベースメモリに登録し、後述する送信情報の集計処理に際してこれらの情報毎の集計情報を生成するようとしてもよい。

【0033】再生実績集計装置21は、所定或いは任意のタイミングを以って各再生装置20に対してCPU27から送受信部29を介して再生実績情報要求信号32を送信する。再生実績集計装置21は、この再生実績情報要求信号32に基づいて各再生装置20から送信された送信情報22を送受信部29により受信する。再生実績集計装置21は、後述するように重複記録を禁止して送信情報22を集計情報33として集計メモリ28に記録する。

【0034】再生実績集計装置21は、送信情報22を受信する毎に比較器30によってこの送信情報22に付加された装置識別情報26とIDデータベースメモリに記録された装置識別情報26とを比較する。再生実績集計装置21は、装置識別情報26がIDデータベースメモリに未記録である場合において、送信情報22を集計メモリ28に記録するとともに装置識別情報26をIDデータベースメモリに記録する。再生実績集計装置21は、装置識別情報26がIDデータベースメモリに既に記録済みである場合において、送信情報22の集計メモリ28への記録動作を行わないようとする。したがつて、再生実績集計装置21においては、各再生装置20

から送信される送信情報22の重複記録が禁止されるよう構成される。

【0035】再生実績集計装置21は、定期的或いは適宜の時期において、各再生装置20から収集されて集計メモリ28に記録された各送信情報22に基づく集計情報23の集計処理を行う。再生実績集計装置21においては、各再生装置20から収集された送信情報22が、集計情報33として集計メモリ28内に例えば図7に示すように再生操作日順に記録されている。各集計情報33は、曲名情報6と日時情報7とともに、各再生装置22毎の装置識別情報26とからなる。

【0036】再生実績集計装置21には、集計メモリ28に、IDNo.1の再生装置20から収集した楽曲Aに関する第1の送信情報22aと楽曲Bに関する第2の送信情報22bとが記録される。再生実績集計装置21には、集計メモリ28に、IDNo.12345の再生装置20から収集した楽曲Cに関する第3の送信情報22cが記録される。

【0037】再生実績集計装置21には、集計メモリ28に、IDNo.505の再生装置20から収集した楽曲Bに関する第4の送信情報22dが記録される。再生実績集計装置21には、集計メモリ28に、再生操作日を異にしたIDNo.505の再生装置20から収集された楽曲Aに関する第mの送信情報22mが記録される。再生実績集計装置21には、集計メモリ28に、同一のIDNo.505の再生装置20から収集した楽曲Bに関する第nの送信情報22nが記録される。

【0038】再生実績集計装置21は、各再生装置20から送信情報22を収集すると、これら送信情報22をその都度再生操作日順にソートして集計情報33として集計メモリ28に記録するが、例えばランダムに記録するようとしてもよい。再生実績集計装置21は、上述したように送信情報22を収集する毎に、送信先の再生装置20の装置識別情報26をIDデータベースメモリに記録して次の収集に際してのID照合を行う。再生実績集計装置21は、送信情報22をランダム記録する場合に、例えば収集日情報と装置識別情報26とをIDデータベースメモリに記録してID照合を行うようとしてもよい。

【0039】再生実績集計装置21は、所定の集計条件に基づいて集計メモリ28に記録された集計情報33の集計処理を行って総合情報4を作成する。再生実績集計装置21は、例えばある期間において実際に再生された楽曲1のベストテン情報や、時間帯別のベストテン情報或いは年齢別のベストテン情報等の総合情報4を作成する。再生実績集計装置21は、この総合情報4がCPU27を介して出力部31へと供給され、接続された表示器やプリンタ等の出力端末によって管理者による確認を可能とする。また、再生実績集計装置21は、例えばベストテン情報等を通信網5を介して各再生装置20に対

して情報提供サービスを行うことを可能とする。

【0040】なお、上述した再生実績集計システムにおいては、各再生装置20における全ての再生情報2を送信情報22として再生実績集計装置21によって収集して集計情報33として記録するようにしたが、かかる構成に限定されるものではないことは勿論である。再生実績集計システムにおいては、上述したように各再生装置20において作成された編集情報3を送信情報22として再生実績集計装置21によって収集するようにしてもよい。

【0041】送信情報22は、具体的には図8に示すような内容によって再生装置20から再生実績集計装置21に送信される。送信情報22は、所定期間における再生操作された楽曲1の曲名情報6とその日時情報7とかなる全ての再生情報2a乃至2nに対して、装置識別情報26(IDNo.1)が付加されてなる。各再生装置20は、再生実績要求信号32に基づいてこの送信情報22を再生実績集計装置21に対して送信する。再生実績集計装置21においては、送信情報22を受信すると、図9に示した動作フローによってこの送信情報22が新着情報であると判断した場合にこれを集計情報33として集計メモリ28に記録する。

【0042】再生実績集計装置21は、再生装置20から送信された送信情報22を受信する(s-1)。再生実績集計装置21は、送信情報22のパラメータi及び集計メモリ28に記録された集計情報33のパラメータjをそれぞれセットする(s-2)。再生実績集計装置21においては、受信した送信情報22のパラメータiと集計メモリ28に記録された第1番目の集計情報33のパラメータj及びそれの装置識別ID26(IDNo.1とIDNo.n-j)を照合する(s-3)。再生実績集計装置21は、この照合操作によってパラメータi、j及び装置識別ID26のIDNo.1とIDNo.n-jとが一致するとの照合結果が得られた場合には、当該送信情報22が記録済みの集計情報33であると判断してその記録操作が禁止されて後述するパラメータjのリセット操作のステップへと進む。

【0043】再生実績集計装置21においては、照合操作によってパラメータi、j及び装置識別ID26とが不一致であるとの照合結果が得られた場合に、受信した送信情報22と第2番目の集計情報33との照合操作を行ふためにパラメータjに1が加えられる(s-4)。再生実績集計装置21は、パラメータjが集計メモリ28に記録された集計情報33の記録数mと比較され(s-5)、j>mの場合に次のステップへと進行する。再生実績集計装置21は、パラメータjが記録数mに達するまで上述したステップ3と同様の照合操作が繰り返される。

【0044】再生実績集計装置21においては、記録数mに達するまで照合操作を行っても受信した送信情報2

2のパラメータi及び装置識別ID26(IDNo.

1)と集計メモリ28のパラメータj及び装置識別ID26(IDNo.j)とが一致するとの照合結果を得られなかった場合に、送信情報22iが新規送信情報であると判定して集計メモリ28に記録する(s-6)。再生実績集計装置21においては、第2番目の送信情報22に対する照合操作を行ふために、集計情報33のパラメータjを1にリセットするとともに、第2の送信情報22のパラメータとしてiに1を加える操作を行ふとともに(s-7)、パラメータiが集計メモリ28に記録された集計情報33の記録数mと比較される(s-8)。再生実績集計装置21においては、i>mの場合には送信情報22がないと判断して上述した照合操作を終了する。

【0045】本発明の第3の実施の形態として図10及び図11に示した再生装置40及び再生実績集計装置41を備える再生実績集計システムは、上述した再生装置20及び再生実績集計装置21を備える再生実績集計システムと基本的な構成を同等とするが、各再生装置40a乃至40mがそれぞれ複数の再生実績集計装置41a乃至41nと接続されてシステムを構成している。再生実績集計システムにおいては、各再生装置40において、特定の再生実績集計装置41に対してのみ送信情報22の送信を行ふようにした構成について特徴がある。したがって、再生装置40及び再生実績集計装置41については、上述した再生装置20及び再生実績集計装置21の各部と対応する部位には同一符号を付すことによってその詳細な説明を省略する。

【0046】再生装置40は、送信された再生実績情報要求信号32に基づいて再生実績集計装置41に対して装置識別情報26を付加した送信情報22を送信するが、上述したように特定の再生実績集計装置41に対してのみその送信操作を行ふようにする。再生装置40には、このために図10に示すように自己の装置識別情報26を記憶するID記憶メモリ25とともに、送受信IDメモリ42が備えられている。

【0047】再生装置40においては、予め特定の再生実績集計装置41を指定する送信情報許可ID43が使用者によって操作部等を介して設定しており、この送信情報許可ID43を送受信IDメモリ42に記憶している。再生装置40においては、使用者によって送信情報許可ID43の再設定操作が適宜可能とされ、その都度更新されて送受信IDメモリ42に記憶される。なお、再生装置40においては、例えば使用者が操作部等によって送信情報送信許可のパスワード44を設定するとともに、このパスワード44を通信網5を介して再生実績集計装置41側に通知するようにしてもよい。パスワード44は、同図に示すように送受信IDメモリ42に送信情報許可ID43に代えて或いは同時に送受信IDメモリ42に記憶される。

【0048】再生実績集計装置41には、それぞれ固有の装置識別符号が付与されており、各自の装置識別符号に対応する装置識別送受信ID46がメモリ45に記憶されている。再生実績集計装置41は、所定期間の経過後に所定の再生装置40から送信情報22の収集を行う際に、この再生装置40に対応した装置識別送受信ID46をメモリ45から取り出すとともに再生実績要求信号32に付加して送信する。また、再生装置40は、所定期間の経過後に所定の再生実績集計装置41に対してその装置識別送受信ID46を照合して送信情報22の送信を行う。

【0049】再生実績集計装置41は、各再生装置40からそれぞれの送信情報送信許可のパスワード44が送信された場合に、これらを受信して装置識別送受信ID46に代えて或いは同時にメモリ45に記憶する。再生実績集計装置41は、所定の再生装置40から送信情報22の収集を行う際に、この再生装置40から提供されたパスワード44をメモリ45から取り出すとともに再生実績要求信号32に付加して送信する。

【0050】以上のように構成された再生装置40とは、図12に示すように再生実績集計装置41側からの要求に基づく送信情報22の収集操作に際して、上述したID照合操作が行われる。すなわち、再生装置40においては、使用者によって操作部を介して送信情報送信許可のパスワード44が設定されることによって(t-1)、このパスワード44を送受信IDメモリ42に記憶するとともに送受信部24を介して再生実績集計装置41へと送信する(t-2)。再生実績集計装置41は、送信されたパスワード44をメモリ45に記録する(t-3)。再生装置40においては、使用者によって楽曲1の再生操作が行われると、この再生操作に関する再生情報2がその都度記憶メモリ14に記録される。

【0051】再生装置40には、所定の期間の経過後に再生実績集計装置41から再生実績要求信号32が送信される(t-4)。再生装置40は、この再生実績要求信号32を受信すると、これに付加されたパスワード44と送受信IDメモリ42に記憶したパスワード44との照合操作を行う(t-5)。再生装置40は、この照合操作によって送信されたパスワード44が記録パスワード44と一致する結果を得た場合に、送信情報22とID記録メモリ25から取り出した自己の装置識別情報26とを再生実績集計装置41側へと送信する(t-6)。再生実績集計装置41は、送信情報22を集計メモリ28に記録するとともに、パスワード44をメモリ45に記録する(t-7)。

【0052】また、再生装置40と再生実績集計装置41とは、図13に示すように再生装置40側からの要求に基づく送信情報22の収集操作に際しも上述したID照合操作が行われる。すなわち、再生装置40と再生実績集計装置41には、上述したように相互に設定された

送信情報送信許可のパスワード44を保持している。再生装置40は、使用者によって楽曲1の再生操作が行われると、この再生操作に関する再生情報2がその都度記憶メモリ14に記録される。再生装置40は、所定の期間の経過後に再生実績集計装置41に対して送信情報22の送信要求を行う(t-8)。再生装置40は、この場合送信情報送信許可のパスワード44を供給した再生実績集計装置41に対してのみ送信情報22の送信要求を行う。

【0053】再生実績集計装置41は、再生装置40側からの送信情報22の送信要求を受けると、パスワード照合を行う(t-9)。再生実績集計装置41は、メモリ45に記録したパスワード44と送信されたパスワード44との一致を確認した場合に、再生装置40に対して送信許可の指示を行う(t-10)。再生装置40は、この指示に基づいて送信情報22とID記録メモリ25から取り出した自己の装置識別情報26とを再生実績集計装置41側へと送信する(t-11)。再生実績集計装置41は、送信情報22を集計メモリ28に記録するとともに、パスワード44をメモリ45に記録する(t-12)。

【0054】再生装置40は、パスワード照合によって特定の再生実績集計装置41に対してのみ自己が保有する送信情報22を送信可能とすることで、プライバシー保護等が図られる。なお、再生装置40と再生実績集計装置41とは、上述したパスワード照合操作によって送信情報22の送受信が行われるばかりでなく、ID照合によって送信情報22の送受信を行うようにしてもよいことは勿論である。

【0055】【発明の効果】以上詳細に説明したように、本発明にかかる再生装置によれば、再生部において個別情報の再生操作を行った毎にその再生操作に関する再生実績記録部に順次記録するとともに個別情報毎の個別再生操作情報を編集処理して再生編集情報を作成することから、使用者に対して所定期間における時間別の再生実績やベストテン情報等のように極めの細かな再生実績に関する情報を提供するようにする。また、再生装置によれば、受信部を介してより効率的な個別情報の入手を可能とともに、送信部を介して有効な再生編集情報を遠隔地の第三者に対しても提供可能としてより有効かつ有益な個別情報の配信システムを構築することが可能となる。さらに、再生装置によれば、要求元の識別信号を照合することによって、個別再生操作情報の送信可否が判断されることでプライバシー保護が図られるとともに第三者による無断の情報使用を防止することを可能とする。

【0056】また、本発明にかかる再生実績集計装置によれば、多数の個別情報を選択して再生手段により再生し再生操作を行った毎に個別の再生操作情報を再生実績記録部に順次記録するとともに個別情報毎の個別再生操

作情報を編集処理しつつこの再生編集情報或いは個別再生操作情報等の送信情報を送信する多数個の再生装置が通信網を介して端末接続されて、各再生装置から送信情報を通信網を介して収集することから、各再生装置から個別情報に関する再生編集情報を遠隔的に収集して編集処理することでシステム全体の所定期間における時間別の再生実績等のように極めの細かな再生実績に関する情報を簡易に得ることが可能となる。したがって、再生実績集計装置によれば、個別情報等の実再生情報の入手が可能とされ、楽曲や映像情報等の配信システムにおいて、各再生装置に対して加入者等のニーズにより適合した有効な楽曲等の提供を効率的に行うことを可能とする。

【0057】また、再生実績集計装置は、各再生装置に付された固有の端末識別情報を識別することで送信された再生編集情報の重複収集を行わないようとしており、より精密な送信情報の入手が図られ、使用者等に対して有効かつ使用率の高い有益な個別情報を提供する配信システムを構築する。

【0058】さらに、本発明にかかる再生実績集計方法によれば、端末接続した多数の再生装置から、各再生装置において再生操作された個別情報に関する個別再生操作情報を再生操作集計装置により収集して全体の個別情報毎の再生実績の統計処理を行って再生実績総合情報を作成するようにすることから、システム全体の所定期間における時間別の再生実績等のように極めの細かな再生実績に関する情報が簡易に得られ、各再生装置に対して加入者等のニーズにより適合した有効な楽曲等の提供を効率的に行う配信システムを構築する。また、再生実績集計方法によれば、各再生装置からの個別再生操作情報の重複収集が禁止されるとともに、第三者の介入を防止した個別再生操作情報の送受信が行われることで、より精密な情報収集が図られるとともに、使用者のプライバシー保護が図られたより安全な配信システム等の構築が図られるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の形態として示す再生装置の要部構成図である。

【図2】同再生装置に備えられる記録メモリに記録される再生情報の説明図である。

【図3】同記録メモリに記録された再生情報と、これを編集して作成される編集情報の説明図である。

【図4】編集情報の表示例の説明図である。

【図5】本発明の第2の実施の形態として示す再生装置の要部構成図である。

【図6】同再生装置を端末接続する再生実績集計装置の要部構成図である。

【図7】同再生実績集計装置に備えられる集計メモリに記録される送信情報の説明図である。

10 10 【図8】同再生実績集計装置に対して再生装置から送信される送信情報の内容の説明図である。

【図9】同再生実績集計装置における送信情報の二重記録防止操作のフローチャートである。

【図10】本発明の第3の実施の形態として示す再生装置の要部構成図である。

【図11】同再生装置を端末接続する再生実績集計装置の要部構成図である。

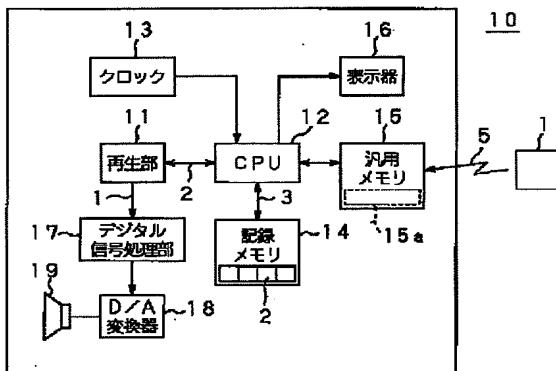
【図12】同再生装置と再生実績集計装置との間における送信情報の送受信可否操作のタイミングチャートであり、再生実績集計装置側からの送信要求の場合を示す。

【図13】同再生装置と再生実績集計装置との間における送信情報の送受信可否操作のタイミングチャートであり、再生装置側からの送信要求の場合を示す。

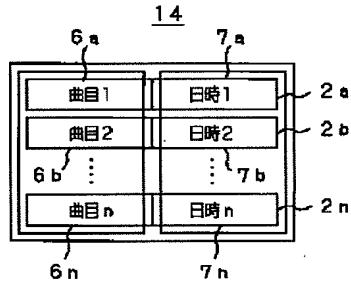
【符号の説明】

1 楽曲（個別情報）、2 再生情報（個別再生操作情報）、3 編集情報（再生編集情報）、4 総合情報（再生実績総合情報）、5 通信網、6 曲名情報、7 日時情報、10 再生装置、11 再生部、12 C P U、13 クロック、14 記録メモリ、15 汎用メモリ、16 表示器、17 デジタル信号処理部、18 デジタルアナログ変換器、19 スピーカ、20 再生装置、21 再生実績集計装置、22 送信情報、23 コネクタ、24 送信部、25 I D記憶メモリ、26 装置識別情報、27 C P U、28 集計メモリ、29 送受信部、30 比較器、31 出力部、32 再生実績要求信号、33 集計情報、40 再生装置、41 再生実績集計装置、42 送受信 I D メモリ、43 送受信許可 I D、44 パスワード、45 メモリ、46 装置識別送受信 I D

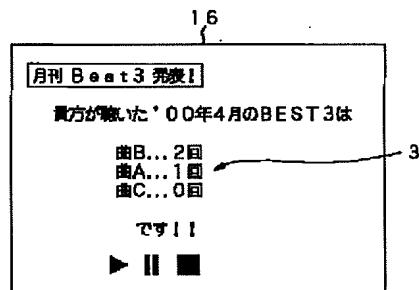
【図1】



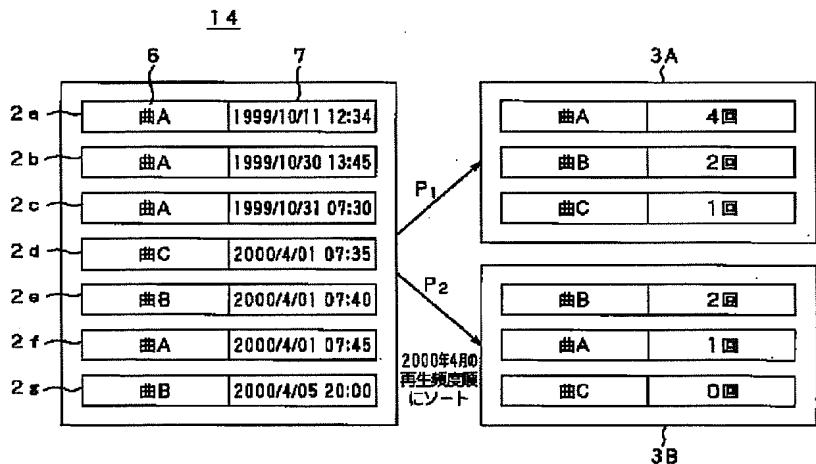
【図2】



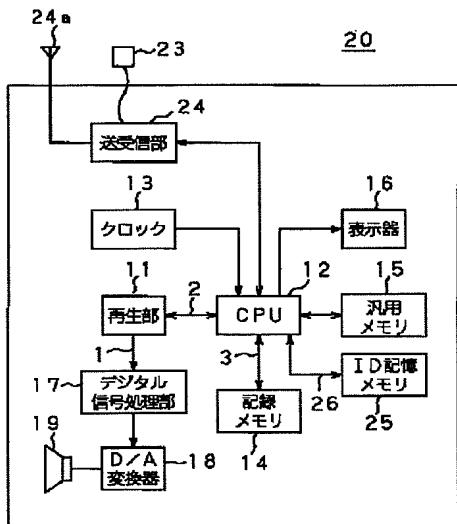
【図4】



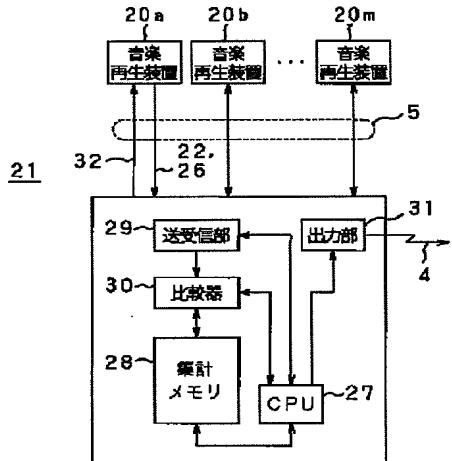
【図3】



【図5】



【図6】



【図7】

33

22a	曲A	1998 12/03 13:00	ID 000001
22b	曲B	1998 12/03 13:05	ID 000001
22c	曲C	1998 12/03 21:00	ID 012345
22d	曲B	1998 12/03 21:34	ID 000505
⋮	⋮	⋮	⋮
22m	曲A	1999 04/06 10:00	ID 000001
⋮	⋮	⋮	⋮
22n	曲B	2000 3/04 20:00	ID 000505

【図8】

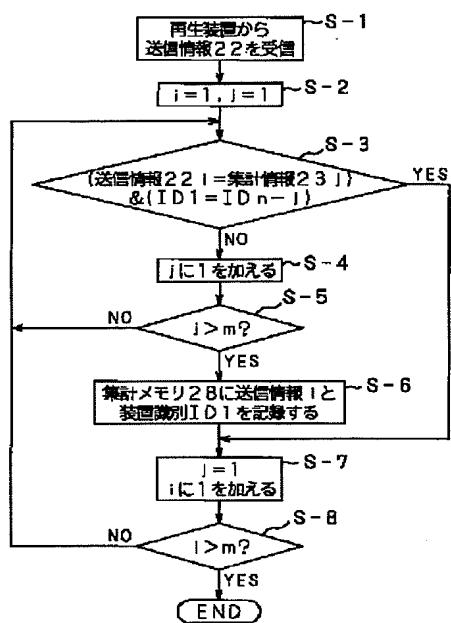
22

2a	曲A	1998 12/03 13:00
2b	曲B	1998 12/03 13:05
2c	曲A	1998 12/12 08:00
2d	曲C	1998 12/12 08:30
2e	曲E	1999 01/01 01:00
2f	曲D	1999 01/01 01:05
⋮	⋮	⋮
2n	曲C	2000 11/18 19:00

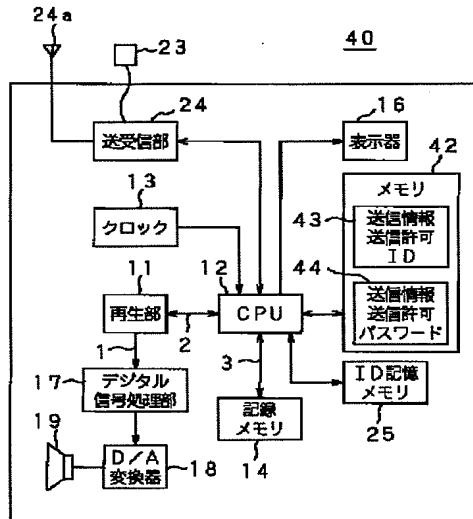
ID 1

26

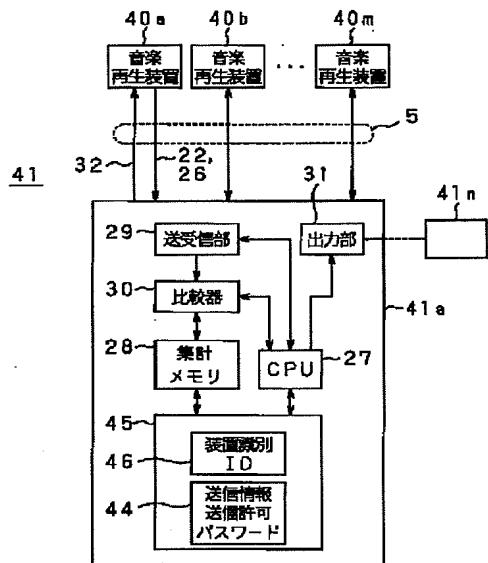
【図9】



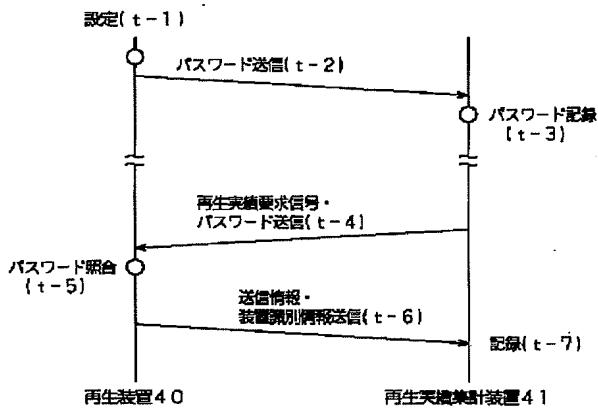
【図10】



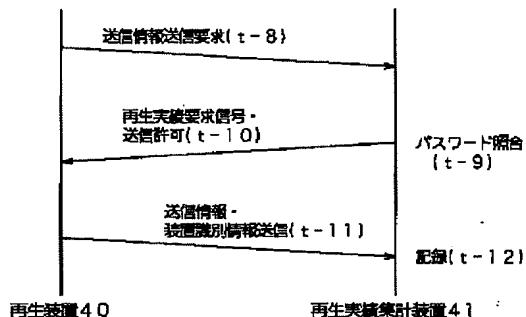
【図11】



【図12】



【図13】



【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年4月26日(2007.4.26)

【公開番号】特開2001-312473(P2001-312473A)

【公開日】平成13年11月9日(2001.11.9)

【出願番号】特願2000-132917(P2000-132917)

【国際特許分類】

G 06 F 21/20 (2006.01)

G 10 K 15/02 (2006.01)

G 11 B 27/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 15/00 330 C

G 10 K 15/02

G 11 B 27/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月8日(2007.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

個別情報を再生する再生部と、

上記再生部において上記個別情報を再生操作を行った毎に、その再生操作に関する日時等の個別再生操作情報を順次記録する再生実績記録部とを備え、

上記個別情報を毎の上記個別再生操作情報を編集処理して、再生編集情報を作成することを特徴とする再生装置。

【請求項2】

通信網を介して供給元から送信された提供情報を受信するとともに、該提供情報を情報格納部に上記個別情報をとして供給する受信部を備え、

上記個別情報が、配信される楽音情報、映像情報或いはゲームソフトウェア情報等であることを特徴とする請求項1に記載の再生装置。

【請求項3】

上記個別再生操作情報を通信網に送信する送信部を備えることを特徴とする請求項1に記載の再生装置。

【請求項4】

上記送信情報には、固有の装置識別信号が付加されて、上記送信部を介して送信されることを特徴とする請求項3に記載の再生装置。

【請求項5】

上記受信部は、要求元から通信網を介して送信された再生実績情報要求信号を受信し、上記送信部は、上記再生実績情報要求信号に基づいて上記送信情報を上記通信網を介して上記要求元に送信することを特徴とする請求項3に記載の再生装置。

【請求項6】

上記受信部において、要求元から送信される上記再生実績情報要求信号に付加された固有の要求元識別信号を識別することによって、上記要求元に対する上記送信情報の送信可否を判断した後に上記送信部を介して送信することを特徴とする請求項5に記載の再生装置。

**【請求項 7】**

据置型、携帯型、車載型或いは携帯電話機であることを特徴とする請求項 1 に記載の再生装置。

**【請求項 8】**

多数の個別情報を選択して再生手段により再生し、再生操作を行った毎に個別の再生操作情報として再生実績記録部に順次記録するとともに、上記個別情報毎の上記個別再生操作情報を編集処理して再生編集情報を作成し、かつ、上記個別情報或いは再生編集情報等の送信情報を送信する多数個の再生装置が通信網を介して端末接続され、

上記各再生装置からの上記送信情報を上記通信網を介して収集するとともに、該収集した送信情報を集計処理を施して再生実績総合情報を作成することを特徴とする再生実績集計装置。

**【請求項 9】**

上記各再生装置から、それぞれに付与された固有の端末識別符号に対応する固有の端末識別情報が付加されて送信される上記送信情報について、

検出部において、上記固有の端末識別情報を識別することによって、上記送信情報の重複収集が禁止されるようにしたことを特徴とする請求項 8 に記載の再生実績集計装置。

**【請求項 10】**

上記各再生装置に対して再生実績情報要求信号を送信することによって、上記送信情報の収集を自動に行うことを特徴とする請求項 8 に記載の再生実績集計装置。

**【請求項 11】**

上記各再生装置に対して、固有の識別信号を付加した上記再生実績情報要求信号を送信することを特徴とする請求項 8 に記載の再生実績集計装置。

**【請求項 12】**

多数の個別情報を再生する多数の再生装置と、これら再生装置が通信網を介して端末接続される再生実績集計装置とが用いられ、上記各再生装置において、上記個別情報の再生操作を行った毎にその再生操作に関する個別再生操作情報を順次記録するとともに各個別情報毎の再生編集情報を作成し、上記再生操作集計装置において、上記各再生装置に対してそれぞれ上記個別情報毎の再生編集情報の送信指示を行うとともに、収集結果に基づいて上記各個別情報毎の再生実績の集計処理を行って再生実績総合情報を作成することを特徴とする再生実績集計方法。

**【手続補正 2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、再生装置は、通信網を介して供給元から送信された提供情報を受信するとともに、この提供情報を情報格納部に個別情報として供給する受信部を備える。再生装置は、再生編集情報を通信網に送信する送信部を備える。

**【手続補正 3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、上述した目的を達成する本発明にかかる再生実績集計装置は、多数の個別情報を選択して再生手段により再生し、再生操作を行った毎に個別の再生操作情報を再生実績記録部に順次記録するとともに、個別情報毎の個別再生操作情報を編集処理し、かつ、この再生編集情報或いは個別再生操作情報等の送信情報を送信する多数個の再生装置が、通信網を介して端末接続される。再生実績集計装置は、通信網を介して各再生装置に対し

て再生実績情報要求信号を送信することによって、各再生装置から送信情報を通信網を介して収集する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、再生実績集計装置は、各再生装置から、それぞれに付与された固有の端末識別符号に対応する固有の端末識別情報が付加されて送信される送信情報について、検出部において、この固有の端末識別情報を識別する。再生実績集計装置は、各再生装置に対して再生実績情報要求信号を送信することによって、送信情報の収集を自動に行うように構成される。再生実績集計装置は、各再生装置に対して、固有の識別情報を付加した再生実績情報要求信号を送信する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0055】

【発明の効果】

以上詳細に説明したように、本発明にかかる再生装置によれば、再生部において個別情報の再生操作を行った毎にその再生操作に関する個別再生操作情報を再生実績記録部に順次記録するとともに個別情報毎の個別再生操作情報を編集処理して再生編集情報を作成することから、使用者に対して所定期間における時間別の再生実績やベストテン情報等のように極めの細かな再生実績に関する情報を提供するようとする。また、再生装置によれば、受信部を介してより効率的な個別情報の入手を可能とするとともに、送信部を介して有効な再生編集情報を遠隔地の第三者に対しても提供可能としてより有効かつ有益な個別情報の配信システムを構築することが可能となる。さらに、再生装置によれば、要求元の識別信号を照合することによって、個別再生操作情報の送信可否が判断されることでプライバシー保護が図られるとともに第三者による無断の情報使用を防止することを可能とする。